



1 住宅

● 住宅の建て方別の世帯数 (単位: 世帯)

	鶴見区	横浜市
一戸建	42,120	607,761
長屋建	1,118	23,214
共同住宅	84,899	971,904
その他	237	2,602
合計	128,374	1,605,481

資料: 平成 27 年国勢調査

鶴見区で持ち家に住む一般世帯は 58.6% だよ!



住宅の建て方を見ると、共同住宅が最も多く 84,899 世帯 (住宅に住む一般世帯数に占める割合 66.1%) と約3分の2の世帯が共同住宅に住んでいることとなります。次いで一戸建てが 42,120 世帯 (32.8%) となっています。

共同住宅に住む世帯の割合は、横浜市全体の 60.5% (971,904 世帯) と比べ 5.6 ポイントも上回っています。

COLUMN 区の用途別水道使用量

資料: 水道局及び第97回横浜市統計書

平成 29 年度の鶴見区の水道使用量は、約 2,936 万m<sup>3</sup>でした。そのうち、公衆浴場用が約 14 万m<sup>3</sup>で、横浜市全体の公衆浴場用水道使用量 (約 79 万m<sup>3</sup>) の約 17%を占めています。

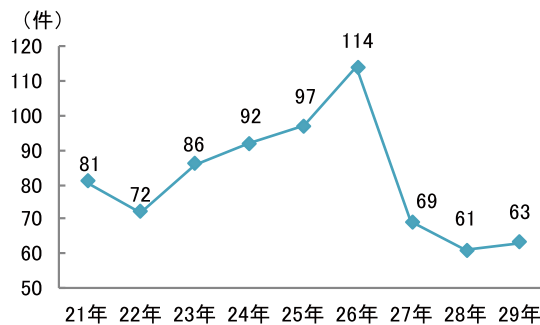
なお、鶴見区の平成 29 年末の公衆浴場数は 31 で、18 区中、中区に次いで2番目の多さとなっています。

2 消防

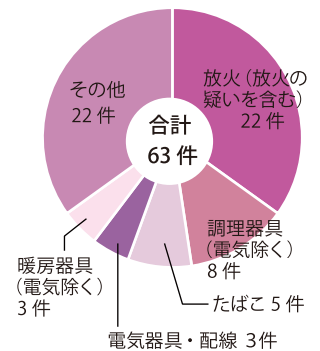
平成 29 年の火災発生件数は 63 件で、前年と比べると 2 件増加しました。火災の原因としては、「放火 (放火の疑いを含む)」が 22 件で一番多く、次いで「調理器具 (電気除く)」が 8 件、「たばこ」が 5 件となっています。

また、平成 29 年の救急車の出動件数は、14,782 件であり、出動理由は、急病が全体の約 67%を占めています。

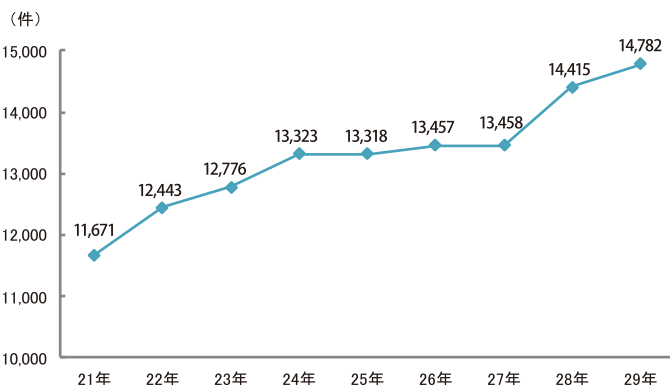
● 火災発生件数の推移



● 火災原因別件数



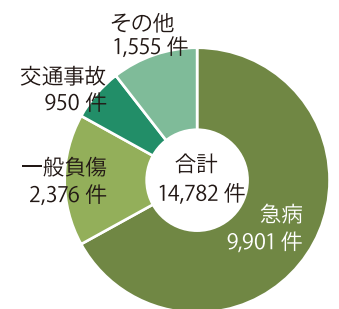
● 救急車出動件数の推移



救急車の出動件数が増え過ぎると、空白地域 (救急車が多数同時出動することで、その地域に救急車がない状態) の増加につながり、傷病者の救命率が低下する恐れがあるよ



● 救急車出動理由



資料: 平成 29 年 鶴見消防署